

市立幼稚園の再編について

令和8年 7 月

松江市こども子育て部こども政策課

令和5年 3 月に策定した「幼稚園・保育所・認定こども園のあり方計画」の中で幼稚園の再編方針を示し、令和 6 年度より、保護者・地域の皆様へ再編方針を踏まえた具体的な計画を説明しました。

1. 松江市内の公立幼稚園数及び園児数の推移(毎年 4 月時点・幼保園を除く)

	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
公立幼稚園数	26	26	26	26	24	23	21	20	19	19	15	14	14
園児数	859	802	773	742	689	616	550	481	362	295	226	188	167
備考					(休園) 生馬 恵曇	(幼保園化) やくも	(休園) 竹矢 (統合) 大谷・玉湯	(休園) 本庄	(休園) 大野		(休園) 忌部 (幼保園化) 東出雲3園	(休園) 雑賀	

※H26年度と比較して、R8 年度の幼稚園児数は、692 人減の 167 人となりました。(減少率 80.5%)

2. 再編の方針

- ・ 活力ある幼児教育・保育を推進するため、中学校区を単位とし、年齢別のクラス編成ができる園児数 20 名を基準に再編します。
- ・ 再編後、廃止となる施設の建物等の利活用は、地域の皆様の意向を踏まえて活用策等を検討します。

3. 今までの経緯

- ・ R5 年 3 月「幼稚園・保育所・認定こども園のあり方計画」策定。(※児童福祉専門分科会にて審議)
- ・ R6 年 3 月に市立幼稚園の再編計画を公表。
- ・ 現在 21 園(休園中の 7 園を含む)を、中学校区を基本に 8 園に再編する計画としました。
- ・ R6 年 4 月～8 月にかけて再編対象の 10 園の保護者と希望のあった地域の皆様に説明会を実施。
- ・ 説明会にていただいた意見を踏まえ具体的な考え方をまとめ、再編時期を「R10 年 4 月とする」案を含め、以下の内容について、R6 年 11 月～R7 年 3 月まで 2 回目の説明会を実施し、意見をいただきました。
- ・ 令和 7 年度は、検討中としていた「第二中学校区」「湖北中学校区」の再編方針について、保護者・地域の皆様と協議を行いました。

4. 説明内容(R6. 11～R7.3)

<再編に向けた考え方>

- ・ 市立幼稚園においては、再編するメリットを活かしながら教育・保育環境の充実を図ります。
- ・ 幼稚園が再編されることにより、幼児教育への影響を懸念されるというご意見もありますが、平成 30 年に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携認定こども園教育・保育要領が改訂され、それぞれの施設で 3 歳児(年少クラス)から 5 歳児(年長クラス)の教育の共通化、小学校就学時のこどもの育ちの方向性が示されるなど、どの幼児教育、保育施設も同じ方向性をもって次代を担う大切なこどもを育てる施設であると位置づけられました。
- ・ 本市においても、本市の目指すこどもの姿と目指す保育者像を示して共有化することを目的に「松江市幼児教育こどもまんなかビジョン」を令和 6 年 3 月に策定し、0 歳児から 5 歳児までに育てたい力とその力を育む保育者の支援などのカリキュラム等を新たに盛り込むなど、幼児教育の充実に力を入れています。
- ・ このビジョンの浸透に向けて、研修の開催や指導の充実を図るなど、今後も市内全ての幼稚園、保育所、認定こども園等でさらに質の高い幼児教育が行われるよう積極的に取組を進めていきます。

(1)充実を図る事項

① 教育・保育環境の充実

- ・多くの同年齢の友達と関わるができる集団規模となり、人間形成の基礎を培う極めて重要な幼児期に、主体性や社会的態度がより身につけることできる教育・保育環境となります。
- ・また、財務資源を集中的に投資できることから、より安心安全な保育環境を作ることができます。

② 再編後の弁当提供

- ・再編された R10 年度からの弁当提供に向けて調整をしていきます。

③ 幼稚園における子育て支援機能の充実

- ・育児不安やストレスを感じる保護者の相談体制を充実させるため、未就園児の保護者などが、市立幼稚園といたった身近な場所で、子育て相談や支援、他の保護者や地域住民との交流が行えるよう検討を進めます。

④ 幼稚園の PR の充実(預かり保育、カリキュラム)

- ・市公式ホームページや SNS での情報発信の充実を図ります。

⑤ カリキュラムや年間行事、特色、地域との交流等の継承

- ・カリキュラムや年間行事、特色、地域との交流について継承されるよう、R8 年度から R9 年度にかけて再編予定の幼稚園間で協議します。

⇒R7 は、古志原・大庭幼稚園で両園の交流を、先行して実施しています。

⑥ 園名や園歌、園章

- ・園名や園歌、園章は、R10 年度に向けて検討を進めます。

⑦ 幼小連携の推進

- ・現在の幼小連携が継続されるよう、隣接する小学校との幼小連携を図ります。また、同一中学校区内にある小学校との交流も検討するほか、幼稚園の再編に限らず、幼小連携の充実を図ります。

(2)配慮する事項

① 再編時期と再編区域

- ・R10 年 4 月から再編を図ることとし、R8 年度に入園する児童から影響がでることから、R7 年 12 月の募集時期(R8 年 4 月入園)から再編時期など具体の周知を図りました。

※R6 年 12 月(R7 年 4 月入園)の募集時期より、再編計画について周知実施。

- ・また、再編する区域については、安心安全な教育ができるよう、施設の老朽化等を勘案し、当初の方針通りとします。

② 特別支援幼児教室の継続

- ・ニーズを勘案しながら、現行教室数を確保できるよう努めます。

<再編時期より早く休園となる場合、以下の③、④を実施>

③ 通園タクシーの対応(R9 年度末まで)

- ・園児数が減少し計画より早く休園する場合で、幼稚園への通園を希望するが、通園手段がない園児には通園タクシーを運行します。

④ 職員配置(R9 年度末まで)

- ・安定的に教育・保育できるよう、職員配置について配慮します。

(松江市立の幼児教育・保育施設の休園基準)

「在園児数が3名未満、もしくは1世帯のみ」となった場合は、施設を休園(R7 雑賀幼稚園、R6 忌部幼稚園)

5. 再編の具体方針

- ・各中学校区毎に、以下の方針に基づき、再編を進めていきます。
ただし、園児数が減少し、集団教育が困難となった場合は、再編時期を待たずして、休園・統合について、園舎の利活用も含めて検討していきます。

(1)当初説明したスケジュール、園舎で進める中学校区(園名の後のカッコ内は令和8年4月の園児数)

中学校区	対象園 ★は当初の使用園舎 案	使用園舎	今後の方針
第一中 (18人)	★城北(18人) 生馬(休園中)	城北	○R6年度の説明内容にて、再編を進めていきます。 ・ R10年4月の再編を決定事項 として、改めて各園保護者、地域の皆様に向けた説明会を実施します。 ・ R6年度に説明会を実施していない園、及び休園中の地区についても説明会を実施します。 (生馬地区、竹矢地区、忌部地区など)
第三中 (10人)	★中央(10人) 雑賀(休園中)	中央	
第四中 湖東中 (31人)	★古志原(23人) 大庭(8人) 竹矢(休園中)	古志原	
湖南中 (24人)	★幼保園のぎ(24人) 忌部(休園中)	幼保園 のぎ	
鹿島中 (16人)	★佐太(13人) 講武(3人) 恵曇(休園中)	佐太	・ R10年4月に幼稚園を再編します。 ・ 今後、保育所、幼稚園、小学校のあり方について検討を行う予定です。

※【第四中学校区】津田(27人)、【たまゆ学園校区】たまゆ(14人)は今回の再編の対象外

(2)再編内容を見直した中学校区①:第二中学校区(本庄中学校区)

(園名の後のカッコ内は令和8年4月の園児数)

中学校区	対象園 ★は当初の使用園舎 案	使用園舎	今後の方針
第二中 本庄中 (43人)	★母衣(4人) 川津(22人) 朝酌(6人) 持田(11人) 本庄(休園中)	川津幼稚園 敷地内に 新園舎建設	・複合施設化を検討している城東保育所・ふじのみ園の計画と合わせた再編方針とします。 ・川津幼稚園敷地内に「 幼保連携型認定こども園(幼稚園+城東保育所)+ふじのみ園 」の複合化施設を建設します。 ・施設建設期間も踏まえ、 R12年4月の園舎共用開始 を目指します。 ・ 幼保連携型認定こども園は公設公営(松江市が直営)、ふじのみ園は公設民営(指定管理制度) を予定しています。 ・特別支援幼児教室のある母衣幼稚園については、 当面存続することとします 。ただし、園児数が減少し、集団教育が困難となった場合は、休園・統合について検討します。

- ・【城東保育所・ふじのみ園複合化整備事業について】R5年度:整備事業決定

(目的)○老朽化施設を複合化することで公共施設の適正化を図ります。

○同じ施設での活動や遊びなどの機会を通じて、互いを尊重し合い、協力する力を自然に身につけることで、他者への理解や尊重の心を育む。

ふじのみ園(児童発達支援事業所)

未就学の障がい児が通所。

日常生活の基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等の療育を実施。

(2)再編内容を見直す中学校②:湖北中学校区(園名の後のカッコ内は令和8年4月の園児数)

中学校区	対象園 ★は当初の使用園舎 案	使用園舎	今後の方針
湖北中 (8人)	★湖北学園 古江(4人) 秋鹿(4人) 大野(休園中)	既存園舎 の活用で 再検討	・R11 年度開校予定の(仮称)湖北学園内に、古江・秋鹿・大野幼稚園を再編・統合し、新園舎を建設する計画としていましたが、近年の園児数の減少を踏まえて、計画変更について協議を行いました。 ・R8.2 月の湖北統合学園建設委員会において、新園舎の建設は行わないことについて了承いただきました。 ・今後は、当初新園舎共用を予定していた R11.4 月に向けて、既存の古江、秋鹿幼稚園での再編について説明会を実施します。

6. 今後の主なスケジュール

(第二中・湖北中学校区以外)

- ・ R8 年 4 月～ 再編準備(カリキュラムや地域との交流等の引継ぎ、園名や園歌の検討)
※具体的な進め方や進捗状況については、園や公民館を通じてお伝えしてまいります。
- ・ R10 年 4 月 再編(ただし、途中であっても在籍児数が 3 名未満もしくは 1 世帯となった場合は休園)

(第二中学校区)

- ・ R8 年度～ 川津幼稚園敷地内に建設する幼保園の園舎建設中の代替園舎、再編内容について、再度保護者・地域の皆様と協議を行う。
基本設計・実施設計の実施
- ・ R10 年 4 月 川津幼稚園舎解体、新たな施設建設の着工
- ・ R12 年 4 月 「幼保連携型認定こども園+ふじのみ園」の複合化施設の共用開始

(湖北中学校区)

- ・ R8 年度～ 在園児保護者や地域の皆様に加え、地域内の未就園児の保護者と協議を行い、再編後の使用園舎及び再編時期について方針を定めていく。